

対象期間
2023年10月1日～2024年9月30日



株式会社 坂本建設

2023年度 環境経営レポート



施工例：家畜改良センター兵庫牧場鶏舎（2023年11月竣工）



施工例：皮革工業技術支援センター（2024年3月竣工）

発行日：2024年10月28日

改訂日：

I. ごあいさつ

当社は、2011年より全従業員が、EA21に取組み、環境負荷の低減と、循環型社会へ向けた、事業活動を展開してまいりました。今後も快適な地域社会づくりと持続可能な社会の実現に貢献し、顧客から信頼される市民企業として、環境経営を発展させる活動に取り組んでまいります。

II. 環境経営方針

株式会社 坂本建設

環境経営方針

当社の経営方針「地域社会への貢献」に沿って、環境負荷の低減及び循環型社会への参画と社業の持続的な発展を両立させた建設活動に努めます。

- (1) 事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組めます。
 1. 電力及び化石燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減
 2. 水資源使用量の削減
 3. 廃棄物の発生抑制と、リサイクルの推進
 4. 化学物質使用量の抑制と管理
- (2) 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 1. 地域貢献活動への積極的な参加
 2. 環境に配慮した工法、資材の提案
- (3) 顧客満足と利益の確保のため、環境経営の継続的改善を行います。
- (4) 関係する環境法規等及び地元との協定を順守します。
- (5) 本方針を全社員に周知し、意識の向上を図ります。
- (6) 環境経営レポート等を通じて、情報を外部へも公表します。



制定日：2011年10月15日
改定日：2022年2月28日
株式会社 坂本建設
代表取締役 青木 稔

Ⅲ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者氏名

株式会社 坂本建設
代表取締役 青木 稔

(2) 所在地

本社：兵庫県相生市那波野221番
資材置場：兵庫県たつの市揖西町竹原963-2

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 工務課長 松下 智宣 TEL 0791-22-0403
担当者 工務課長 松下 智宣 FAX 0791-23-3298
E-Mail : koumu-k@saka-ken.com

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業、大工工事業、左官工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、解体工事業

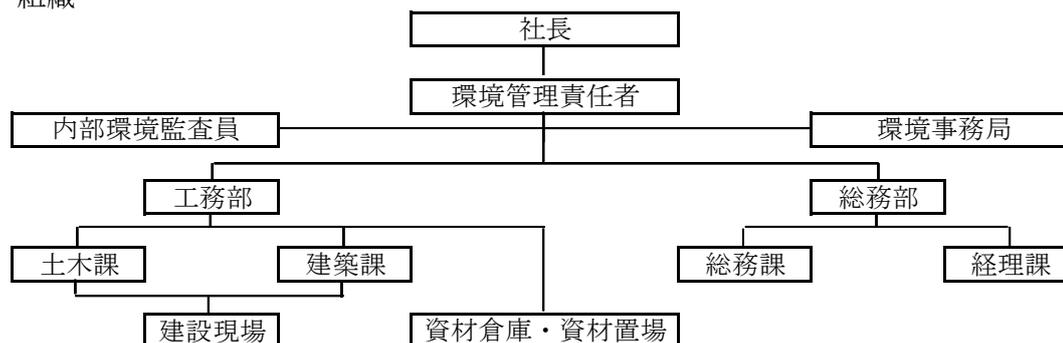
許可番号 兵庫県知事 許可 (特-2) 第 550566 号
許可の有効期限 令和 2 年 6 月 20 日 ~ 令和 7 年 6 月 19 日

(5) 事業規模

設立 1961 年 2 月 21 日
資本金 45百万円
売上高 539百万円 (2023年度 : 2023/10 ~ 2024/9)
事業所の規模

	本社・資材倉庫	資材置場	合計
総従業員数	17 人	無 人	17 人
延べ床面積	1,103.8 m ²	—	1,103.8 m ²
敷地面積	1,337.5 m ²	2,397.2 m ²	3,734.7 m ²

(6) 組織



役職名	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等の経営資源の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直し及び指示の実施 ・環境経営レポートの承認 ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標・環境経営計画書の確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
内部環境監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門への内部環境監査の実施 ・環境経営システムがエコアクション21ガイドライン要求事項に合致しているかの検証 ・環境経営システムの有効性の検証 ・環境経営システムの活動内容が環境経営方針・目標の達成に適切かの検証 ・監査を内部環境監査チェックリストに基づき実施し、結果を被監査部門に通知
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施と達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

役職名	役割・責任・権限
工事責任者 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施と達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境経営活動への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

※ 資材倉庫及び資材置き場は工務部がインフラストラクチャーを含め統括管理

(7) 事業年度

10月～翌年 9月

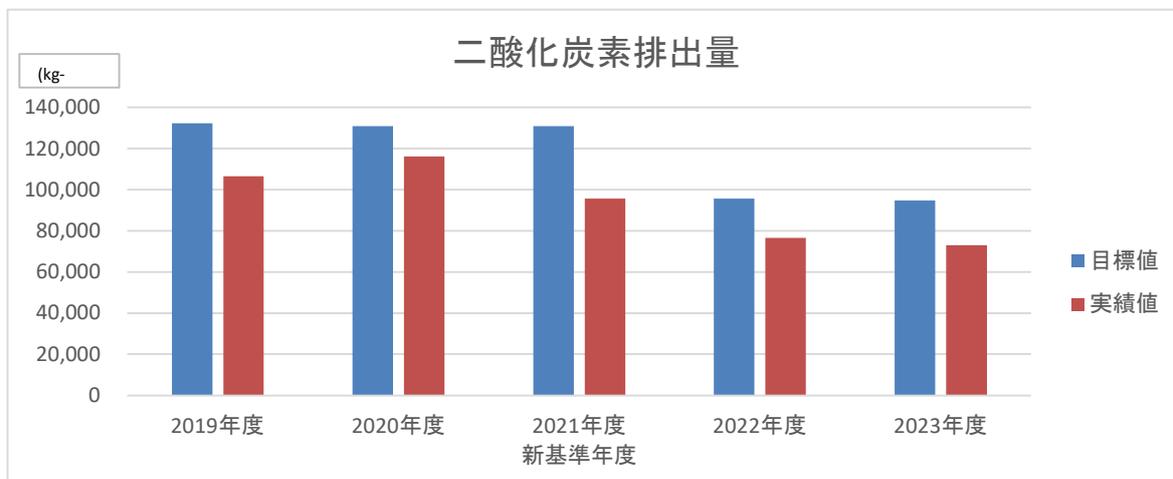
IV. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社 坂本建設
 対象事業所 : 本社・資材倉庫、資材置場
 活動 : 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
 舗装工事業、水道施設工事業、防水工事業、解体工事業

V. 主な環境負荷の実績

基準年度変更により旧年度実績を記載						
項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	106,567	116,173	95,667	76,497	73,046
電力使用量	kWh	11,637	21,252	20,063	20,680	13,661
ガソリン使用量	L	18,276.3	14,791.7	14,911.9	13,202.8	13,786.4
軽油使用量	L	22,862.1	28,074.6	20,269.0	14,635.3	13,658.8
灯油使用量	L	422.1	772.0	680.0	341.0	400.0
LPG使用量	kg	15.3	14.1	14.1	0.0	10.4
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	272.5	175.8	183.0	2,521.0	182.6
産業廃棄物	t	712.9	1,641.5	765.9	1,195.9	2,349.9
水使用量	m ³	124.5	99.5	106.5	112.0	231.5
化学物質使用量	kg	91.73	93.88	3.09	3,180.84	11.18

※基準年変更に当たり、関西電力（株）の2016年度調整後係数 0.493kg-CO₂/kWhから2020年度調整後係数 **0.351**kg-CO₂/kWh に変更して、各年度の二酸化炭素排出量を再計算したものを記載。



※ 今年度は電力と軽油の使用量がかなり減少して二酸化炭素排出量が大幅に削減できた。産業廃棄物に関しては基準値を再度見直したにもかかわらず、大幅に増加してしまった。しかし分別処理を確実に実施し、リサイクル率は目標達成できている。

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目		年度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		95,667	95,667	94,711	94,711	93,754
	対基準			—	△1%	△1%	△2%
電力使用量削減	kWh		20,063	20,063	19,862	19,862	19,662
	kg-CO ₂ 対基準		7,042	7,042	6,972	6,972	6,901
ガソリン 使用量削減	L		14,912	14,912	14,763	14,763	14,614
	kg-CO ₂ 対基準		34,596	34,596	34,250	34,250	33,904
軽油 使用量削減	L		20,269	20,269	20,066	20,066	19,864
	kg-CO ₂ 対基準		52,294	52,294	51,771	51,771	51,248
灯油 使用量削減	L		680.0	使用量削減	使用量削減	使用量削減	使用量削減
	kg-CO ₂		1,693				
LPG 使用量削減	kg		14.1	使用量削減	使用量削減	使用量削減	使用量削減
	kg-CO ₂		42				
II. 廃棄物排出量削減							
1) 一般廃棄物 排出量削減	kg		788.0	—	788.0	780.1	772.2
	対基準			—	—	△1%	△2%
2) 産業廃棄物 排出量削減	t		1,079.2	—	1,079.2	1,068.4	1,057.6
	対基準			—	—	△1%	△2%
III. 建設リサイクル率 の向上	%		96.2	96.2	96.7	96.7	97.2
	対基準			—	+0.5%	+0.5%	+1%
IV. 水使用量 削減	m ³		106.5	106.5	105.4	105.4	104.4
	対基準			—	△1%	△1%	△2%
V. 化学物質使用量 管理	kg		使用量管理	使用量管理	使用量管理	使用量管理	使用量管理
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件		15	15	16	16	17
	対基準			—	+1件	+1件	+2件

※2022年度は基準年度を前年度に見直したばかりのため、数値目標を前年度と同様とした。

※電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力（株）2020年度調整後係数 **0.351**kg-CO₂/kWh を使用。

※二酸化炭素排出量の削減で、灯油、LPGは使用量が極めて少ないため、削減活動は行うが数値目標は設定しない。

※産業廃棄物排出量は産業廃棄物及び産業廃棄物(特別管理)の合計を示す。

※化学物質(トルエン、キシレン、エチルベンゼン、トリメチルベンゼン、スレン等)についても使用量が少ないため、購入量、使用量、在庫量等の記録を行い、化学物質管理手順書により管理する。

※基準年度は、2021年度(2021年10月～2022年9月)とする。 **なお、一般廃棄物・産業廃棄物削減については2022年度実績が基準年度を大幅に上回ったため、今回過去4年間(2019～2022年度)の実績の平均値を基準値として見直しを行った。**

※今回の対象年度は、2023年度(2023年10月～2024年9月)

(2) 取組対象期間の実績

項目		年度	2021年度 基準年度	取組対象期間における実績			
				2023年度 (2023年10月～2024年9月)			
			基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準		95,667	94,711	73,046	129.7%	○
				△1%	-22.9%		
電力使用量削減 排出係数= 0.351	kWh		20,063	19,862	13,661	145.4%	○
	kg-CO ₂ 対基準		7,042	6,972	4,795		
				△1%	-31.2%		
ガソリン 使用量削減	L		14,912	14,763	13,786	107.1%	○
	kg-CO ₂ 対基準		34,596	34,250	31,984		
				△1%	-6.6%		
軽油 使用量削減	L		20,269	20,066	13,659	146.9%	○
	kg-CO ₂ 対基準		52,294	51,771	35,240		
				△1%	-31.9%		
灯油 使用量削減	L		680.0	使用量削減	400.0	—	○
	kg-CO ₂		1,693		996		
LPG 使用量削減	kg		14.1	使用量削減	10.4	—	○
	kg-CO ₂		42		31		
II. 廃棄物排出量削減							
1) 一般廃棄物 排出量削減	kg 対基準		788.0	788.0	182.6	431.5%	○
				—	-76.8%		
2) 産業廃棄物 排出量削減	t 対基準		1,079.2	1,079.2	2,349.9	45.9%	×
				—	117.7%		
III. 建設リサイクル率 の向上	% 対基準		96.2	96.7	97.3	100.6%	○
				+0.5%	0.6%		
IV. 水使用量 削減	m ³ 対基準		106.5	105.4	231.5	45.5%	×
				△1%	119.6%		
V. 化学物質使用量 管理	kg		使用量管理	使用量管理	11.18	—	○
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準		15	16	18	112.5%	○
				1件	2件		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（70%～100%未満）、×：未達成（70%未満）

注3) 2023年度における建設リサイクル率の実績＝再資源化量（2286.0t）／産業廃棄物発生量（2349.9t）

注4) 環境に配慮した施工：①環境に配慮した工法の開発、提案、②環境にやさしい資材の採用、③長寿命の資機材への切替え

Ⅶ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
目標達成状況	◎	今年度は電力・軽油の使用量の減少で、かなり余裕をもって達成できた。今後も削減の継続に努めたい。
電力使用量の削減 (目標達成)		
目標達成状況	◎	夏場の猛暑にもかかわらず目標を大幅に達成できた。来年度はなお一層省エネの機械導入等の工夫に努めたい。
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	◎	猛暑が続いたにもかかわらず使用量削減を達成できた。
・クールビズの推進	◎	猛暑による熱中症の対策も含めて確実に実践した。
・不要照明の消灯	○	今後も不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	○	猛暑によりエアコンの使用頻度が増加した。
・設備の省エネ化	○	省エネ設備の使用を出来るだけ心がけている。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
目標達成状況	○	今年度もコンスタントに目標を達成できた。今後も削減に努めたい。
・移動コースの効率化	○	各現場に応じたコース設定や乗り合わせを心掛けている。
・アイドリングストップ	△	猛暑のため、クーラーの使用が多かった。
・空気圧、オイル等の点検	○	給油時や始業前点検により、確認している。
・急加速・急停車の抑制	○	今まで通り抑制の徹底を行う。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
目標達成状況	◎	目標は大幅達成したが、重機土工の減少が使用量に表れていると思われる。
・移動コースの効率化	○	各現場に応じたコース設定や乗り合わせを心掛けている。
・重機の空ふかしの禁止	◎	新規機種にはオートアイドリングストップ機能搭載、空ふかし禁止は徹底している。
・アイドリングストップ	○	今後もエコドライブの徹底を図る。
・急加速・急停車の抑制	○	今後も抑制の徹底を図る。
・空気圧、オイル等の点検	○	給油時や始業前点検により、確認している。
灯油使用量の削減 (削減徹底)		
目標達成状況	◎	エアコンの併用で使用量が減少し、目標を達成できた。
・室内温度の適正化(20℃を基準)	○	注意喚起の掲示とともに、今後も周知徹底する。
・部屋開放の禁止	○	前半のコロナ対策のためあまりできていない。
・不在時の消火徹底	○	注意喚起の掲示と実施が確実にできた。
LPG使用量の削減 (削減徹底)		
目標達成状況	○	今年度もコンスタントに目標を達成できた。今後も削減に努めたい。
・節水(温水)の周知徹底	○	注意喚起の掲示とともに、今後も周知徹底する。
・必要量の給湯の徹底	○	注意喚起の掲示とともに、今後も周知徹底する。
・冬場の温水使用の効率化	○	今後も改めて周知の上、削減に努める。

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
目標達成状況	◎	基準値の再度の見直しにより目標は大幅達成できた。今後も削減努力とペーパーレス化を推進している。
・分別によるリサイクルの推進	○	分別とリサイクルは出来ている。
・ミスコピーの防止	△	まだ十分徹底できていない。
・裏紙の使用	○	使用はできている。
産業廃棄物の削減 (混合廃棄物の削減) (目標未達成)		
目標達成状況	×	今年度は大規模な解体工事で多量の廃棄物が発生したため、基準値を見直したにもかかわらず目標が未達成となった。しかし分別を確実に行うとともに再資源化に努めている。
・分別の徹底	△	まだ混合廃棄物の削減が不十分である。
・再利用の推進	○	今後も継続して推進していく。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
目標達成状況	○	大規模解体工事で廃棄物が多量に発生したが、分別を徹底しリサイクルを心がけた。
・分別によるリサイクルの推進	△	まだ十分できていないので、徹底していく。
・仮設資材の再利用の推進	○	修理も含めて、できる限り再利用に努めている。
・資材の計画的使用	○	ラインワークスを活用し、資材の利用効率化を図っている。
水使用量の削減 (目標未達成)		
目標達成状況	×	今年度は大規模な改修工事現場で、壁面の高圧水洗浄に多量の水を使用したため、目標を達成できなかった。今後も節水に努めていきたい。
・節水の周知徹底 (節水シールの貼付、ポスター掲示)	△	節水を呼び掛けているが徹底できていない。
・清掃時・手洗い時の節水	△	今後も、さらに徹底していく。
化学物質使用量の管理 (管理徹底)		
目標達成状況	○	今年度も使用量の管理を徹底した。
・使用量管理の徹底	○	今後もSDSによる化学成分の把握や使用量の管理を徹底する。
・使用量削減の工夫	○	施工計画において、削減の工夫と提案を行っている。
・対象成分含有率の小さい塗料への切り替え	△	可能な場合は、代替品の提案を行っている。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
目標達成状況	○	今年度は主要な工事が少なかったため、提案・実施があまりできなかった。今後とも各現場において積極的に取り組んでいきたい。
・環境に配慮した工法の提案	○	今後も施工計画時に積極的に提案を行っていく。
・環境にやさしい資材の採用	○	施工計画時に提案し、採用する努力をしている。
・長寿命の資機材への切り替え	○	必要に応じて資機材の新規購入を行っている。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
兵庫県(姫路市)産業廃棄物不適切処理防止条例	建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引き渡し完了の報告	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・改修における有資格者による事前調査 調査結果の発注者への説明と現場表示 一定規模以上の工事の調査結果の都道府県等への届け出 特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準(85dB)の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準(75dB)の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守
消防法	消火設備の定期点検(防火対象物) 事故時の措置と届け出(通報) 危険物の届出、点検、基準遵守	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理 解体工事前の第1種特定製品の調査、発注者への調査結果の書面説明	遵守
建築基準法	石綿含有建材・クロルピリホス添加建材の使用禁止 ホルムアルデヒドに関する規制	遵守
盛土規制法	規制区域内での盛土等についての都道府県知事等の許可、標識掲示	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去5年間ありませんでした。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は大きな規模の解体工事の影響で多量の産業廃棄物を排出することとなったが、処分については適切な分別・リサイクルを心がけた施工ができたと思う。その他に関しては水の使用量を除いて目標を達成できた。また課題である働き方改革については建設業にも時間外労働の上限規制が適用されることとなった。ますます労働者の確保・労働時間の短縮が求められる中、ICT施工を進めていくため昨年導入した測量機器については、十分活用されていないこともありまだ生産性の向上には繋がっていない。しかし、当社が今後発展していくためにも、様々な取組みを通して働き甲斐のある良好な労働環境の確保や社会ニーズに沿った環境にやさしい施工を実現していくことが喫緊の課題である。より一層のインフラストラクチャーの充実と新技術の活用や創意工夫への取り組みを進めながら環境目標の達成を目指していきたい。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	要	廃棄物排出量基準値の見直しによる目標変更
環境経営計画	要	廃棄物排出量基準値の見直しによる目標変更
実施体制	否	—
その他	否	—

2024年10月25日
代表取締役 青木 稔

X. 環境への取組の紹介



<エコアクション掲示板>



<産業廃棄物の分別>
現場でのごみの分別



<産業廃棄物の分別>
木くずの分別処分



<産業廃棄物の分別>
金属くずの分別処分



<産業廃棄物の削減>
竹の根と土砂の分別処分



<省エネ>
ソーラー式点滅灯・回転灯・看板灯



<環境配慮の施工>
ブレーカーに替えて圧砕機の使用



<環境配慮の施工>
吸塵式・乾式コンクリートカッター

X. 環境への取組の紹介



<環境配慮の施工>
アスベスト含有接着剤への剥離剤使用



<環境配慮の施工>
河川工事におけるシルトフェンスの設置



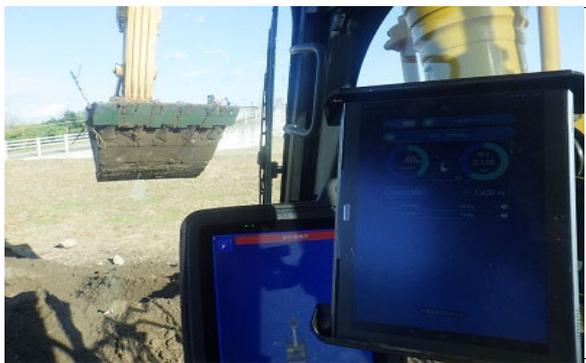
<環境配慮の施工>
現場における境界付近での振動の測定



<環境配慮の施工>
現場における境界付近での騒音の測定



<NETIS・超低騒音・排ガス規制適合>
新規購入コンパインドローラー



<過積載防止対策>
ペイロードメータ装着油圧ショベル使用



<省力化対策>
マシンガイダンス装着油圧ショベル使用



<省力化対策>
マシンガイダンスモニター

X. 環境への取組の紹介



＜清掃奉仕活動＞
自治会の水路清掃への参加



＜清掃奉仕活動＞
現場周辺の除草作業



＜清掃奉仕活動＞
現場周辺の定期的な道路清掃



＜清掃奉仕活動＞
事故による油流出防止措置協力



＜地域貢献＞
近隣小学校児童の通学時の誘導



＜地域貢献＞
通学路での走行注意喚起看板の設置



＜作業環境の改善＞
小型車載トイレの活用



＜熱中症予防対策＞
熱中症アラームの携帯

X. 環境への取組の紹介



<救急救命訓練>
社員全員での救急救命訓練



<消火訓練>
社員全員での消火訓練